



ふたがわ

第50号

編集・発行 豊橋市立二川小学校

(0532) 41-0550

めざす子ども像
ふたがわのよい子
●やさしい子(徳)
●考えます子(知)
●たくましい子(体)

六年生のみなさん

卒業おめでとう

校長 野口 正芳

この一年間、新たな気持ちで学習や運動等に取り組んできた子どもたち。スポーツエスターやランニングフェスタでは、たくさんの友達と一緒にいっぱいに活動する姿が見られました。また、様々な行事により盛大に行なうことができ、心から感謝申し上げます。

さて、三月は卒業の季節です。はじめ、PTAや地域の方々のご協力により、卒業式を挙げます。卒業生のみなさんへのメッセージとして、小学校を卒業しても、ずっと覚えていてほしいことを書きま

それは、「命を大切にする」ということです。言葉で言うのは簡単です。でも、日々の生活において「命を大切にする」ためには、何をすればよいのでしょうか。私は、大事なことが三つあるのは思っています。

まずは、「一つ目に大事なことは、自分を信じて進む」ということです。中学校に入学すると、友達との関わりの中で、時には人と自分を比べなければならぬこともあります。むしろ、中学校生活はどうでしょう。もしろ、中学校生活はその連続かもしれません。お互いの夢の実現に向けて話し合い、より高い目標に向けてチャレンジしていくこと、時にはラーバルとして競争し合うことで社会を生き抜く力がつきます。それがあなたは、一人一人が個性をもつた人間であり、かけがえのない存在です。中学校ではとても大切なことです。

花は、それぞれ独自の方法で飛ばしますが、ひとたび種が地面に落とされれば、そこから自分の意思で動くことはできません。花の種を風や鳥の力を借りて遠くに飛ばしますが、ひどい種がそんな環境に置かれても、大地にしっかりと根を張り美しい花を咲かせる花があります。歩道に力強く咲くタンポポの花、みなさんもどこかで見たことがあるのではないでしょうか。

みなさんが、中学校でさらに飛躍し、個性豊かな花を咲かせるため、授業や様々な活動を通して、しっかりと養分を吸収し、地中に根を張っていくことが大切です。落ち着いてひたむきに努力を続ければ、必ず道が開けます。

最後に大事なことは、「今」という時間を大切に生きる」ということです。世界では、戦争や紛争、日本国内では自然災害が発生し、避難を余儀なくされた方々が、多数います。私たちが自然災害から学んだことは、いつたい何だったのでしょうか。

毎日、学校で勉強したり、みんなでいっしょに運動場で遊んだり、家族と晩ご飯を食べながら会話を楽しんだり……、そんな何気ない「当たり前」のことではなく、奇跡にも近い「幸せ」だったということです。「命を大切にする」ということは、今という時間の大切にすること。野に咲く花々のように、その日を精一杯生きるということです。

二つ目は、「与えられた環境で咲く努力をする」ということです。花は、それぞれ独自の方法で飛ばしますが、ひどい種が地面に落とされれば、そこから自分の意図で動くことはできません。花の種を風や鳥の力を借りて遠くに飛ばしますが、ひどい種がそんな環境に置かれても、大地にしっかりと根を張り美しい花を咲かせる花があります。歩道に力強く咲くタンポポの花、みなさんはどこかで見たことがあるのではないでしょうか。

生活科「秋を楽しむ天才になろう！」
秋、見つけたー！生活科「自分はつける」
お家の方からの手紙に、感動！

1年 「いいかお」であふれた

2年 「チャレンジ」そして成長へ：

小学校生活がスタートして、一年がたとうとしています。学年目標「いいかお」を宣言葉に、いろいろなことに取り組んできました。

漢字や計算などの学習だけでなく、学校生活のあらゆる場面でたくさん

の「いいかお」が見られました。生活科「秋を楽しむ天才になろう！」では、ある子の「まだ暑いのに、どんどん見つけたよ！」の一言をきっかけにして、学習がスタートしました。運動場で秋見つけをするなど、場所によって秋がちがうかも?という疑問が生まれ、大岩神明宮での秋見つけにつながりました。自分で見つけた秋を追跡していく段階では、図鑑を作つたり、おもちゃを作つたりと、各々の個性が輝いていました。

喜ぶ顔や悩む顔、考える顔など、いいかおが見られる度に、一年生はたくましく成長しました。二年生での活躍が楽しみです。

1 なかもとチャレンジ
2 えがおでチャレンジ
3 なんどもチャレンジ

この一年間、この三つのチャレンジを学年目標として学校生活を送っていました。

仲間と協力して学級をまとめようとする姿。行事に楽しく取り組む姿。授業中では、問題に対しても試行錯誤しながら話し合い解決する姿。失敗や不安を乗り越えてチャレンジしことで、経験を積み重ねることで、こうした素晴らしい姿を見ることができたと思います。

まさに、子どもたち一人一人のがんばりによる成長だとれます。

生活科「自分はつける」の学習では、これまでの自分を振り返り、成長してきた自分と、周りの人達の支えがあつたことに気がつきました。この学びが、これから成長の糧になり、三年生でも活躍していくことを期待しています。

3年
かがやけ!

三年生の学年目標「かがやけ！」
のように、子どもたちの輝く姿を通してたくさんの見聞
学習や行事を通してたくさん見る
ことができる一年でした。

「ウサギの幸せについて考えよう！」

飼育員さんから話を聞いたよ

今年度学んだこと土官にして頼もしい高学年へとステップアップしていくます。

学年合唱に挑戦しました。伝えたいことを自分たちで考え準備し、教師に頼ることなく、仲間と活動できました。

三年生から始まつた理科や社会を総合的な学習の時間では、かがやき隊ボランティアの方々のおかげで、たくさんの校外学習でかけることができました。その中で、学ぶことを楽しみ、新しいことを身につけた喜びいっぱいの姿がありました。豊橋総合動植物公園へは、校外学習でウサギの幸せについて学んだだけでなく、飼育員さんの出前授業も受け、さまざまなかから動物の幸せについて考えました。三学期には、来年度からはじまるうさぎの飼育に向けて、四

学年のために、学級のために、友達のために行動できる人であつてほ――」

4年

「む」という学年目標を掲げました。
一学期に実施したわくわく体験活動では、実験を通して微生物を見たり、各施設で働いているプロの方の話を聞いたりしました。また、公共の場でのマナーについて学級で話し合い、社会的な規範意識を身につけました。体験の中でも顕微鏡の操作が上手な子、天体に対する興味をもつ子、元気よくあいさつができる子など、たくさんのお姿が見られました。

三学期の学習発表会ではグループ別の発表と、

学年目標「ウルトラマン」「超人挑人・聴人」を掲げて一年間を過ぎてきただ五年生。

5年
一川小のウルトラマン

A wide-angle photograph showing a large, diverse crowd of approximately 100 people gathered in a park-like setting. The individuals are standing on a mix of green grass and light-colored gravel. Many people are holding small red flags, which are scattered throughout the scene. The crowd is spread out across the frame, with no single focal point, creating a sense of a public event or protest.

A large group of people, including many children and adults, are gathered on a grassy hillside. They are sitting on the grass, some in small groups, others more individually. Many people are holding colorful balloons. The scene suggests a school event or a community gathering.

学年行事では仲間とともに学び、高め合いました。二学期の野外教育活動では、さまざまな挑戦がありました。親を離れての共同生活や食事づくり自分たちで計画したキャンプファイヤーなど、多くの初めての体験がありました。うまくいかないこともあります。子どもたちは友達の声に耳を傾け、解決しながら経験に変えてきました。

三学期には、六年生に代わり、最高学年となる準備をしました。すす

「三川の旧道は狭くて危ない！」五年生で、福祉について学んだときに実感した思いです。六年生では、この旧道で行われ

三

A large group of students from Yamashita Junior High School are gathered outdoors along a riverbank. They are wearing green shirts and white pants, some with hats. A sign in the center of the group reads "Yamashita Junior High School". The background shows trees and a bridge.

に。二川宿を知る多くの旧道の大切さを聞きま
祭りに、鼓笛隊として残る古民家や宿場町
道の町並みや景観を守
いる人々の思いに触れて、子どもたちは、
りよく残したい」とい
らました。

ありがとうございます！

本年度も保護者の皆様、地域の方々に支えられて教育活動を進めさせてまいりました。ご協力に感謝申しあげます。